

月日	位置	時刻	天候	気温	湿度	風力	風向	波高	雲り	水温	備考
1月23日	徳川沖	10	☁	18.8	9	4	N	3	3	21.0	
"	"	12	☁	18.9	9	4	NE	3	3	21.1	
"	"	16	☁	19.0	9	4	NE	3	3	21.0	
1月24日	"	10	☁	18.8	10	4	NE	3	3	21.0	
"	"	12	☁	19.0	9	3	NE	3	3	21.0	
"	"	16	☁	19.0	9	3	NE	3	3	21.0	
"	喜屋武沖	18	☁	18.8	8	3	NE	3	3	21.0	
"	"	20	☁	18.8	8	3	NE	3	3	21.0	
"	"	22	☁	18.0	9	4	NE	4	3	19.8	
1月25日	"	8	☁	18.0	10	4	NE	4	3	18.8	
"	"	10	☁	18.7	9	4	NE	4	3	18.8	

### 深海一本釣漁業試験（第1次試験）

- I. 期 間 自1960年1月17日 至1月26日
- II. 調査船 八幡丸52号（ダイーブルエンヂン）
- III. 調査員 当真、奥平
- IV. 従員 八幡丸乗組員 船長外5人 臨時漁夫5人
- V. 調査海域 魚釣島近海
- VI. 調査行程
  - 1960年1月17日  
由港発 渡嘉敷寄港（臨時漁夫、乗入の高）
  - 1月18日  
臨時漁夫5人乗入し渡嘉敷発港場に向う
  - 1月19日  
午後9時30分予定帰港、魚釣島到着 衣笠岬泊
  - 1月20日  
魚釣島南緯34°25' - 34°40'、東経123° - 123°の北点を中心に東西に各1海里程度の範囲内に於いて一本釣漁業試験を実施
  - 1月21日  
魚釣島西緯34°25' - 34°35'、東経123° - 123°の範囲にて釣獲試験実施
  - 1月22日  
魚釣島西緯34°25' - 34°35'、東経123° - 123°の範囲にて釣獲試験実施
  - 1月23日  
魚釣島西緯34°25' - 34°35'、東経123° - 123°の範囲にて釣獲試験実施
  - 1月24日  
魚釣島を出発し由港に向う

1月25日

机走中

1月26日

夜高潮密近時漁夫解雇し泊港に帰港した。

Ⅶ 各漁場における試験状況と漁況

一) 魚釣島南+東方  $\lambda: 125^{\circ} - 42'$ ,  $\phi: 008123^{\circ} - 31'$

月 日	操漁 編 号	投網時		所要 時	操漁 人員	水深 (m)	水温	餌料	漁獲物 (大)35K以上(小)1~2K 中2~30K, 幼1K以下
		開始時	終結時						
02年1月20日	1	0845	0900	15分	2人	65	23.0	サマ	青鯛(ヒメマダ)中型, 5尾
"	2	1110	1140	25分	0人	90	"	"	ヒメダイ(マーマチ)小型, 5尾
"	3	1125	2200	12分	8人	115	24.2	"	ヒメダイ, 小型, 4尾
"	4	1221	1245	20分	0人	115	"	"	ヒメダイ 大3 小5尾 中4尾
"	5	1310	1330	20分	30人	120	"	"	なし
"	6	1413	1423	10分	7人	117	"	"	ブリ属(ウナムレ)2 ヒメダイ大3 小3
"	7	1455	1505	10	8人	120	"	"	なし
"	8	1522	1540	20	9人	108	24.0	"	投網失敗 漁なし
"	9	1605	1620	15	9人	105	"	"	なし

二) 魚釣島西方  $\lambda: 125^{\circ} - 453'$ ,  $\phi: 008123^{\circ} - 235'$

1月21日	1	0835	0850	10分	3人	85	24.2	サマ	ブリ属(ウナムレ)1 ヒメダイ中2尾, ヤ1尾
"	2	0920	0930	10分	0	90	"	"	なし
"	3	0930	0950	15分	10	85	"	"	青鯛中3 ヒメダイ中3 小6 マダイ中4
"	4	1005	1030	15分	8	85	"	"	ブリ属大1 中1 青鯛中2 メバル中4
"	5	1045	1057	15分	0	90	"	"	青鯛 小2尾
"	6	1115	1125	15分	0	85	"	"	"
"	7	1140	1200	20分	10	105	24.1	"	サバ(大型)2尾 青鯛中1
"	8	1215	1245	20分	0	"	"	"	マダイ1 中, ヒメダイ小1
"	9	1305	1324	13分	8	90	"	"	サバ2 鰹1小
"	10	1335	1415	15分	9	"	"	"	サバ1 3 ヒメダイ小3
"	11	1420	1430	15分	10	110	24.1	"	青鯛 中 1尾
"	12	1500	1500	25分	0	"	"	"	マダイ1 ヒメダイ中2尾
"	13	1524	1535	23分	7	"	"	"	なし

三) 魚釣島南方(約250) 10125<sup>2</sup> - 4572052123<sup>0</sup> - 225<sup>7</sup>

月 日	操業 順	投網 時間	所要 時間	操業 人員	水深	餌料	魚 獲 物
昭和37年1月27日	1	1037 1050	13分	4人	250 <sup>0</sup>	サマ	青鯛小4尾
"	2	1105 1125	20	5	"	"	メバル大1青鯛中1ヒメダイ中1
"	3	1130 1140	10	7	"	"	ヒメダイ大2 中5 小2尾
"	4	1210 1225	15	5	"	"	青鯛大3 ヒメダイ中5尾
"	5	1230 1240	10	9	"	"	ヒメダイ中、4尾
"	6	1322 1332	10	7	24 <sup>0</sup>	"	シロチマナ大1青鯛中2小1尾
"	7	1355 1415	20	9	"	"	メバル1 青鯛中3尾
"	8	1439 1455	16	5	"	"	メバル1 青鯛2尾
"	9	1505 1515	10	7	"	"	マダイ1白タイ1青タイ5ヒメダイ大1尾
"	10	1520 1530	10	3	242 <sup>0</sup>	"	ヒメダイ中1尾
"	11	1545 1610	17	9	"	"	ナメ27尾

Ⅲ 漁場別、各魚種の漁獲状況

1) 魚釣島南 + 東方

水深500m~1500mの範囲で延長操業回数9回其中投網失敗1回漁獲皆無3回で総漁獲尾数32尾釣獲率はヒメダイ(マーマ)の27尾で34.3%青鯛(ヒチニューマナ)3尾23.7%多ブリ(ワナムル)4尾31.5%の順位となつて居り、引續魚種の釣獲は全然見受けられなかつた。又本漁場では「ヒメダイ」の釣獲率が80%以上示しているが漁獲水深から見れば900mから1100m迄の間で釣獲され1200~1500mの深所では漁獲皆無となつて居る。表面水深は2.5m~4.5mで居た。

2) 魚釣島西方漁場

本漁場では2日間に亘り延長操業回数4回其中漁獲皆無2回あり其後は多少の漁獲はあつた。総漁獲尾数(群を除く)

100尾で魚種別釣獲率はヒメダイ39尾で39%青鯛33尾33%マダイ15尾15%多ブリ7尾7%多ブリ5尾5%シロチマナ1尾1%多尾魚3尾3%の才居で低調ではあるが群の漁獲が75尾もあり昨年迄は西方約5mの地点からは屢々釣獲されていたが今年は沿岸(瀬内外)の極く接近した処でも釣獲されて居り群の捕息、範囲が拡大された様な感じを受けた。

第 二 次 試 験

I 期 自 1960年2月6日 至 2月17日

II 調査船、調査員、前同同様

III 装 備 具 八種丸船員、船長外6人、臨時漁夫5人

IV 調 査 母 域 富古、八重山列島近海

V 調 査 日 程 1960年2月6日

古澤勉、 速高繁吉

2月7日

臨時漁夫5人雇入、渡嘉敷港予定漁場に向う。

2月8日

宮古島東方にて一本釣漁業試験と実施

2月9日

台湾曾根にて一本釣漁業試験実施

2月10日

我羅閉島西方にて一本釣漁業試験実施

2月11日

天候時化模様にて西表島白浜港にて碇泊

2月12日

宮古、水納島北方100海里附近調査予定の航15時頃寒冷前線の通過に伴い大時化となり宮古平良港に避泊(碇泊18時30分)

2月13日 避日中

2月14日

午前7時平良港出帆11時30分より宮古島東方海域にて一本釣漁業試験

2月15日

宮古島東方海域にて一本釣漁業試験実施

2月16日 宮古東方漁場発

2月17日

渡嘉敷港、臨時漁夫解雇、泊港港

V 各漁場に於ける試験概況と漁獲状況

一) 宮古島東方  $122^{\circ}50' - 06'$   $102^{\circ}51'25'' - 28'$

月日	操業 順	投網時 開始時	所要 時	操業 人員	水深	水温	餌料	漁獲
2月8日	1	0857 0907	10分	7人	82m	22.4	サンマ	なし
"	2	0930 0945	15	10	100	"	"	ヒメタイ中1.0、タレノチマチ大1尾
"	3	1000 1015	15	8	97	"	"	ヒメタイ中1、白タイ1尾
"	4	1031 1045	14	11	103	"	"	ヒメタイ中2小2、ブリ(ウルムル)小1尾
"	5	1110 1125	15	8	100	22.6	"	青タイ中2、ヒメタイ大1、中3尾
"	6	1200 1225	25	9	105	"	"	ヒメタイ中5、小2、メバル3尾
"	7	1230 1245	15	10	104	22.7	"	ヒメタイ中3、小3、メバル3尾
"	8	1320 1340	20	9	105	"	"	ヒメタイ大3中2、メバル1、白タイ1、雑3尾
"	9	1355 1415	20	9	108	"	"	ヒメタイ大5中3、メバル1、青タイ中2尾
"	10	1420 1455	35	9	108	"	"	ヒメタイ小2
"	11	1510 1530	20	10	103	"	"	ヒメタイ小4、メバル1、雑2尾

・ 二) 台 湾 曾 根

月日	操業 順	校廻行 揚メ	所要 時	操業 人員	水深	水温	餌料	漁 獲	物
9月9日	1	1150 1210	20分	9人	110m	23.7℃	サマ	ヒメタイ中2尾	
"	2	1220 1240	20	8	110	"	"	ヒメタイ中5尾	
"	3	1345 1415	30	6	135	"	"	ヒメタイ小4大1 青タイ中1尾	
"	4	1420 1440	20	5	110	"	"	メバル2 ヒメタイ大1尾	
"	5	1450 1503	15分	7	127	"	"	ヒメタイ大1 小4尾	
"	6	1535 1555	15	10	105	"	"	ヒメタイ中1 メバル1尾	
"	7	1613 1632	15	10	100	23.9	"	ヒメタイ小2 雑1尾	
"	8	1730 1750	20	7	120	"	"	ヒメタイ大4 青タイ中2 シラサチマチ中1尾	
"	9	1755 1815	20	8	120	"	"	青タイ 小3	
"	10	1815 1835	20	9	122	"	"	ヒメタイ大1 青タイ小4尾	

三) 波照間西方  $E=124^{\circ}-04'$   $N=8123^{\circ}-025'$

月日	操業 順	校廻行 揚メ	所要 時	操業 人員	水深	水温	餌料	漁 獲	物
9月10日	1	0815 0855	20分	9人	75m	23.4℃	サマ	ヒメタイ中1 青タイ小1 雑1尾	
"	2	0850 0905	15	8	130	"	"	雑 2尾	
"	3	0925 0930	15	5	90	"	"	白タイ1 ハマフエタイ1 雑1尾	
"	4	0940 1000	20	7	65	"	"	なし	

四) 仲の和島南西  $E=114^{\circ}-25'$   $N=8123^{\circ}-31'$

月日	操業 順	校廻行 揚メ	所要 時	操業 人員	水深	水温	餌料	漁 獲	物
9月10日	1	1203 1225	22分	8人	143m	23.6℃	サマ	ヒメタイ小1 メバル小1尾	
"	2	1245 1305	20	3	125	"	"	ヒメタイ 小 3尾	
"	3	1317 1337	20	10	115	"	"	ヒメタイ小13 中1 白タイ1尾	
"	4	1353 1415	22	7	115	"	"	ヒメタイ小6 雑1尾	
"	5	1435 1450	15	8	125	"	"	ヒメタイ小 3尾	

五) 富吉島東方  $E=120^{\circ}-08'$   $N=8120^{\circ}-20'$  (日 1. - 1) と同位置)

月日	操業 順	校廻行 揚メ	所要 時	操業 人員	水深	水温	餌料	漁 獲	物
9月14日	1	1130 1150	20分	8人	115m	23.5℃	サマ	ヒメタイ小11尾	
"	2	1230 1250	20	9	110	"	"	ヒメタイ小5 シラサチマチ1尾	
"	3	1350 1380	20	8	108	"	"	ヒメタイ中3 小4 メバル2尾	



日	操業 順	投網時 間	操業 人員	水深	水温	餌料	漁 獲	
							種	尾
2月14日	4	1325 1345	20分	103m	22.5℃	サンマ	ヒメタイ中3	メバル1 雑2尾
"	5	1410 1430	25	11人	103	"	ヒメタイ大2	メバル1尾
"	6	1443 1500	17	11	105	"	ヒメタイ中3	大2尾
"	7	1522 1545	23	10	102	"	ヒメタイ大1	中2 雑5尾
"	8	1600 1615	15	10	"	"	タレクナチ大1中1小3	ヒメタイ中4青タイ大2尾
"	9	1630 1640	10	7	"	"	ヒメタイ中1	小1尾
"	10	1655 1715	20	11	"	"	ヒメタイ中1	小1 白タイ1尾

2月14日	1	0850 0915	25分	7人	105m	22.2℃	サンマ	なし	
"	2	0935 0950	15	9	102	"	"	青タイ大2	ヒメタイ中 1尾
"	3	1003 1045	42	10	143	"	"	なし	
"	4	1100 1125	25	8	107	"	"	ヒメタイ中2尾	
"	5	1140 1150	10	9	107	"	"	白タイ3尾	
"	6	1217 1245	22	8	112	"	"	なし	
"	7	1320 1350	30	9	113	"	"	なし	
"	8	1420 1440	20	6	113	"	"	なし	
"	9	1530 1550	20	8	116	"	"	なし	

#### Ⅶ 漁場別に見る各魚種の漁獲状況

##### 1) 宮古島東方漁場(別表一、五)

天候の都合上2月8日、14、15日の3日間に亘つて延操業30回漁獲定数7回で総釣獲尾数160尾  
種別の釣獲率は「ヒメタイ」116尾で72.5%メバル13尾は12.5%「青タイ」7尾は4.3%「タレク  
ナチ・白タイ」(白魚は各6尾でそれぞれ3.7%「ブリ」1尾は0.6%雑13の以漁である。

##### 2) 台湾首根(別表二)

当漁場は一般的に遅れ模様で操業深度に漁獲はあつたが釣獲率は極めて低漁獲りであつた即ち群をなさず  
に首根全域に拡がって散遊して検息している様な感じを受けた。総漁獲高48尾、最大回数10回1回平  
均4.8尾、魚種別釣獲率は「ヒメタイ」26尾で54.1%、青タイ17尾35.4%メバル3尾は6.1%  
タレクナチ1尾と0.8%雑3尾となつている。

##### 3) 鹿野川西方及沖ノ島南西方漁場(別表三、四)

両漁場共操業可能範囲は広いが今次調査箇所及び附近では好漁場が見出せず第三、四表に見る如く魚体は  
殆んど小魚(若年魚)が多く両動機高に至つて低漁で漁場の荒廃が憂われる。総漁獲高58尾延操業回  
数2回1回当り4.2尾魚種別釣獲率は「ヒメタイ」28尾で75.0%青タイ1尾2.6%「メバル」「  
ハマフネタイ」各1尾で各2.6%白魚(白タイ)2尾、5.2%雑5尾で13.1%の漁獲率位とま

## 第三次試験

- I 期 間 自1960年2月24日 至3月7日  
 II 調査船及調査員 前頁同様  
 III 従 業 員 八幡丸船員、船長外8人、臨時漁夫2人  
 IV 調査海域 赤松枝及び魚釣島近海  
 V 調査日程

1960年2月24日

出漁準備を完了して13時25分泊港発同日15時30分調査敷寄港

2月25日

臨時漁夫2人雇入15時40分調査敷を予定漁場に向ふ。

2月26日

赤松枝西方100尋由りにて一本釣漁業試験を実施

2月27日

時化の為魚釣島にて避難

2月28日

魚釣島西方250尋の地点にて一本釣漁業試験を実施

2月29日 前日同

3月1日 前日同

3月2日 前日同

3月3日

時化の為、魚釣島にて避難

3月4日

魚釣島西方にて一本釣漁業試験を実施

3月5日

赤松枝西方にて一本釣漁業試験を実施

3月6日 (同上)

3月7日

調査敷寄港臨時漁夫解雇し、泊港に帰港した。

## VI 各漁場における試験概況と捕獲

一) 赤松枝西方100尋線曲  $\phi = 125^{\circ} - 54'$   $\delta = 38^{\circ} 12' 4'' - 51'$ 

月日	操業 順	投網時 間	所要 時	操業 人員	水 深	水 温	餌料	捕 獲 物
60年 2.26	1	15時30分 15時55分	25分	7人	98尋	23.0℃	サンマ	ヒメタイ中8尾
	2	15.35 15.55	20	6	92	〃	〃	ヒメタイ中2 メバル1尾
	3	16.00 16.20	20	7	107	〃	〃	ヒメタイ大2 中5尾

月日	操業 順	投網時 間	所要 時	操業 人員	水深	水温	餌料	漁獲	
								種	尾
2月26日	4	18時30分	10分	6人	100	23.8℃	サンマ	ヒメタイ中 7尾	
		18時40分							
"	5	17.04	11	9	102	"	"	ヒメタイ大6 中12尾	
		17.10							
"	6	17.30	5	7	98	"	"	ヒメタイ大3 中5 マダイ1尾	
		17.34							
"	7	17.46	13	9	103	"	"	ヒメタイ大2 中20尾	
		17.52							
"	8	18.07	8	9	100	"	"	ヒメタイ大2 中15 小5尾	
		18.15							
3月5日	1	14.50	10	7	24.0℃	"	"	ヒメタイ大 1尾	
		15.00							
"	2	15.10	10	7	"	"	"	ヒメタイ中2 雑2尾	
		15.20							
"	3	15.30	15	7	"	"	"	ヒメタイ中7尾	
		15.45							
"	4	15.55	15	8	"	"	"	ヒメタイ大1尾	
		16.10							
"	5	16.25	10	8	"	"	"	ヒメタイ中6尾	
		16.35							
"	6	16.40	15	8	"	"	"	ヒメタイ大4中5尾、幼小(ヤブダ)1尾雑1尾	
		16.55							
"	7	17.12	13	8	"	"	"	ヒメタイ中15尾	
		17.25							
"	8	17.40	15	8	"	"	"	ヒメタイ中12尾 ヤブダ幼小 2尾	
		17.55							
"	9	18.05	14	8	"	"	"	マダイ3 ヒメタイ中5尾	
		18.20							

3月6日	1	07.45	10分	8人	24.7℃	サンマ	ヒメタイL メバル1 雑1尾	
		07.55						
"	2	08.14	11	9	"	"	ヒメタイ 中 15	
		08.25						
"	3	08.35	15	9	"	"	ヒメタイ中6 ヤブダ幼小 1尾	
		08.50						
"	4	08.20	20	9	"	"	ヒメタイ大13中1 雑1尾	
		08.40						
"	5	10.00	25	9	"	"	ヒメタイ 小7尾	
		10.25						
"	6	10.35	20	9	"	"	ヒメタイ小2 雑2尾	
		10.55						
"	7	11.10	20	9	24.3℃	"	ヒメタイ中3尾	
		11.30						
"	8	11.45	17	9	"	"	ヒメタイ中10 小5尾	
		12.05						
"	9	12.10	15	8	"	"	ヒメタイ大2 小2 雑1尾	
		12.25						
"	10	12.37	13	8	"	"	ヒメタイ小1 幼3尾	
		12.50						
"	11	13.05	15	7	"	"	ヒメタイ中12 雑2尾	
		13.20						
"	12	13.35	15	8	"	"	ヒメタイ大1尾	
		13.50						
"	13	14.05	20	8	"	"	ヒメタイ中9尾	
		14.25						
"	14	14.40	20	8	"	"	ヒメタイ中11 マダイ1 雑2尾	
		15.00						
"	15	15.05	10	8	"	"	ヒメタイ中10尾	
		15.15						



月 日	操業 順	投種時 場々	所要 時	操業 人員	水深	水温	餌料	漁 獲
3月6日	16	15時35分 15時47分	12分	8人		24.8℃	サンマ	ヒメタイ中14尾
17		16 00 16 15	10	8		〃	〃	ヒメタイ大4 中ハダ鰯小1尾

二) 魚釣島西方漁場(2.5区) 2500-427' 2002103' -250'

2月28日	1	08 45 08 50	5分	8人		23.9℃	サンマ	青タイ1尾
2		09 12 09 30	18	8		〃	〃	ブリ1 青タイ2 鰯1尾
3		09 33 09 45	12	9		〃	〃	なし
4		09 55 10 10	15	9		〃	〃	青タイ1尾
5		10 25 10 45	20	5		〃	〃	ヒメタイ中1小1尾
6		11 05 11 30	25	6		〃	〃	青タイ3 サバ2尾
7		12 00 12 25	25	7		〃	〃	ハマタイ(赤マサ)1 マダイ2 サバ7尾
8		12 30 12 50	20	3		〃	〃	ヒメタイ1尾
9		13 10 13 25	15	8		〃	〃	なし
10		13 45 14 05	20	8		〃	〃	ヒメタイ2 青タイ1尾
11		14 10 14 25	15	8		〃	〃	ウチアブダ1尾
12		14 49 14 55	6	8		〃	〃	ヒメタイ2 青タイ1尾 サバ10尾
13		15 15 15 30	15	8		〃	〃	サバ15 アジ1尾
14		16 45 16 15	30	9		〃	〃	なし
3月2日	1	08 15 08 25	10	4		24.3	〃	ヒメタイ1 マダイ1 青タイ3
2		08 30 08 45	15	6		〃	〃	なし
3		08 55 09 15	20	7		〃	〃	なし
4		09 45 10 10	20	7		〃	〃	マタイ1尾
5		10 30 10 45	15	7		〃	〃	マタイ4 メバル1尾
6		12 00 12 25	25	7		〃	〃	ヒメタイ3 マタイ1 サバ1尾
7		12 40 12 55	15	6		〃	〃	なし
8		13 20 13 35	15	7		〃	〃	青タイ1尾
9		13 52 14 10	18	8		〃	〃	ヒメタイ1 青タイ2 メバル1尾 鰯1尾
10		14 15 14 30	15	7		〃	〃	マタイ1尾
11		14 45 14 55	12	8		〃	〃	なし
12		15 15 15 30	15	8		〃	〃	ヒメタイ4 青タイ2 マタイ1尾
13		15 35 15 50	15	7		24.7	〃	青タイ2尾

月日	操業期	夜通船 時分	所要 時	操業 人員	水深	水深	餌料	漁獲
3月2日	24	16:00分 16:15分	15分	6人		24.70	サンマ	ヒメタイ4 青タイ1尾
"	15	16:25 16:30	10	7		"	"	青タイ2尾
"	16	16:50 16:55	5	5		"	"	なし
"	17	17:05 17:15	10	5		"	"	ブリ1 青タイ2尾
"	18	17:25 17:40	15	7		"	"	青タイ1 サバ1尾
"	19	17:55 18:07	7	8		"	"	ヒメタイ1 青タイ1尾
3月4日	21	11:25 11:45	20	8		25	"	青タイ1 サバ2尾
"	22	12:05 12:20	15	8		"	"	サバ15尾
"	23	12:45 13:00	15	8		"	"	ヒメタイ1尾
"	24	14:05 14:20	15			"	"	ヒメタイ1 サバ15尾
"	25	14:30 14:45	15	8		"	"	ヒメタイ1尾
"	26	15:00 15:15	10	7		"	"	ヒメタイ2 青タイ1尾
"	27	15:25 15:35	10	8		"	"	ヒメタイ2 青タイ1尾

三) 魚釣場西方(約水深) 25° - 44.5' 125° - 14'

2月28日	21	16:22 16:45	23分	8人	100~ 140番	24.70	サンマ	ハマダイ(赤マ)2尾 マダイ7 メバル1尾
"	22	16:55 17:20	25	8	"	"	"	ハマダイ4 マダイ7 キントキタイ3尾
"	23	17:30 17:45	15	8	"	"	"	マダイ5 キントキタイ3 メバル1尾
2月29日	21	08:25 08:50	25分	4	"	"	"	マダイ1 青タイ2 ヒメタイ1 雑2尾
"	22	09:00 09:15	15	7	"	"	"	マダイ2 青タイ3 雑4尾
"	23	09:55 10:15	20	8	"	"	"	青タイ3尾
"	24	10:35 10:45	10	7	"	"	"	ヒメタイ2尾
"	25	11:00 11:20	20	8	"	"	"	ハマダイ4 マダイ2 キントキタイ2尾 ヒメタイ2尾
"	26	11:55 12:15	20	8	"	24.70	"	漁具由底迄到達せず
"	27	12:45 13:15	30	7	"	"	"	同上
"	28	13:35 13:45	10	8	"	"	"	同上
"	29	14:30 14:50	20	7	"	"	"	ヒメタイ2 マダイ2 ハマダイ4尾
"	30	15:55 16:05	10	7	"	"	"	ヒメタイ2 青タイ1尾
"	31	16:10 16:25	15	8	"	"	"	漁具由底迄到達しない
"	32	16:42 17:05	23	7	"	"	"	同上
"	33	17:20 17:40	20	8	"	"	"	同上

月日	操業 順	投網時 刻	所要 時	操業 人員	水深	水温	餌料	漁獲
3月2日	1	09:35分 09:45分	10分	4人	100~ 140m	24.7	サンペ	漁具毎底落進しない
"	2	10:04 10:18	11	5	"	"	"	同上
"	3	10:38 10:50	15	4	"	"	"	同上
"	4	11:05 11:25	20	5	"	"	"	マダイ 3 ヒメダイ 3 青ダイ 2尾
"	5	11:55 12:15	20	5	"	"	"	なし
"	6	12:35 12:55	20	4	"	"	"	"
"	7	14:00 14:20	20	5	"	"	"	サバ 1尾
"	8	14:25 14:35	10	5	"	"	"	"
"	9	14:45 15:05	17	5	"	24.1	"	サバ 3尾
"	10	15:20 15:35	15	5	"	"	"	"
"	11	15:45 16:10	25	5	"	"	"	サバ 1尾

## Ⅱ 漁場別各魚種の漁獲状況

### 1) 赤松島西方100等線曲(里表一)

当漁場は沖陸高から魚釣島間の航路上に当るが冬期、季節風が吹出す頃は産卵場所に恵まれないので漁獲条件の悪い地であるが今回は天候の見通しがついたので魚釣島近海漁場の往復路を利用して5日間に亘つて延34回の操業結果総動員尾数318尾1回当、平均24尾で第一、二、三次試験中最果率を示している。個別に見れば、ヒメダイ(マーマチ)295尾で92.4尾等、マダイ、キハダマグロ(若年魚)各5尾でそれぞれ1.25尾等ハナハシ尾0.5尾等雌魚2尾で3.75尾等の漁獲量位となつてゐるが、操業中獲獲率が悪く見受けられ漁具の損失や漁獲率を低下せしめてゐる状況であつた。

### 2) 魚釣島西方25裡(別表二)

昨午4月中、下旬頃相々好漁のあつた場所であるが今回は2月下旬から5月上旬にかけて漁業試験を実施したのであるが漁獲不振で時期的に見て漁期が早かつた感を受けた。即ち種類数40回で総漁獲量(筋を除く)65尾で1回当平均約2尾の成績であつた。個別向に見ると「青ダイ」39尾で45.8尾等ヒメダイ(マーマチ)27尾で31.75尾等マダイ21尾で12.9尾等其他8尾で24.0尾となつてゐる。尚、瀬戸頭1尾の漁獲もあつた。

### 3) 魚釣島西方(約4裡)別表三

当漁場は海底の起伏状態が複雑であり水深100~140等と変化が多く釣獲魚種もマダイ(赤マチ)ヤントキダイ(赤目)メバル等曾根付魚類が盛かつて釣り新習候かと思はせる点がある。然し乍ら潮流が異状に速かつたのと魚網が故障の為漁具上陸難を來し是認する迄には至らなかつた。概算回数27回漁獲物皆無30回(此れは潮流が速いために所持漁具では海流迄到達しなかつたのが多い)総漁獲高(筋を除く)102尾で魚釣島近海ではマダイ37尾で32.9尾等ハナハシ(赤マチ)22尾で21.0尾等青ダイ11尾で10.75尾ヒメダイ10尾で16.0尾等ヤントキダイ8尾で7.3尾等メバル其他8尾で22.4尾となつてゐる。尚、瀬戸頭1尾の漁獲もあつた。

第 四 次 試 験

- I 期 間 3月17日～3月31日  
 II 調査船及調査員従業員 前 同 様  
 III 調査地域 魚釣島近海(別紙漁場図参照)  
 IV 調査工程

3月17日

那覇港発、臨時漁夫雇入の為、波嘉敷寄港

3月18日～3月20日

停泊の為波嘉敷港にて避泊

3月21日

天候恢復しつつあったので11時～30分波嘉敷発

3月22日

漁場向航走中

3月23日

魚釣島西方にて一時的漁業試験を実施

3月24日 前 日 同

3月25日 同

3月26日～28日

停泊の為魚釣島にて避泊

3月29日

魚釣島発 帰途につく

3月30日

波嘉敷着、臨時漁夫解雇

3月31日

自港に帰港した。

V 各漁場における試験概況と漁況

(第1表)

1) 魚釣島西方(約4里)  $125^{\circ} - 41.5'$   $123^{\circ} - 24'$  及、半径1里附近

月 日	操業 順	投籠時 間	所要 時	操業 人員	水深 m	水温	餌料	魚 獲 物
3月23日	1	11時-12時 12時-13時	15分	7人	100m	25.1℃	サワラ	ヒメタイ(幼) 4尾 1尾 青タイ5尾
"	2	12時-20 10時-30	10分	7	120	"	"	青タイ大4尾
"	3	12時-25 13時-05	20分	8	120-125	"	"	ハマダイ5 ヒメタイ幼1 青タイ1 マダイ1尾
"	4	13時-18 13時-40	25分	9	120-132	"	"	ハマダイ1(腹の切面少し)
"	5	13時-52 14時-15	23分	8	120-127	"	"	ハマダイ2 ヒメタイ1 青タイ2 マダイ1尾
"	6	14時-35 14時-55	20分	7	107-123	"	"	マダイ1 サバ15尾

月日	操業 順	投通時 番	所獲 時	操業 人数	水深m	水温	餌料	漁 獲 物
5月23日	7	15a-20 15a-40	20分	8人	143.7	22.1	ヤシマ	サバ1尾
"	8	15.50 16.10	15	8	135	"	"	鰯魚1尾
"	9	16.20 16.45	25	●	107~127	22.0	"	ヒメタイ2 マダイ4 青タイ8尾
"	10	17.00 17.15	10	9	107~127	"	"	マダイ3 青タイ2 プリ1尾 ヤバ1尾
"	11	17.45 18.00	15	9	115	"	"	ヒメタイ4 青タイ2尾
24日	1	09.00 09.20	20	8	113	24.4	"	青タイ2 キントキダイ1 鰯2尾
"	2	09.35 09.55	19	9	129	"	"	ハマダイ10 プリ1 マダイ1 キントキダイ1尾
"	3	10.00 10.15	15	9	125	"	"	マダイ3 キントキダイ2尾
"	4	10.30 10.55	25	9	117	"	"	サバ1尾
"	5	11.10 11.35	25	9	132	"	"	なし
"	6	11.40 12.05	25	9	127	"	"	なし
"	7	12.30		9	125	"	"	投網失敗
"	8	13.20 13.35	10	7	127	"	"	フカシ ハマダイ1 サバ2尾
"	9	14.00 14.20	20	5	126	"	"	ハマダイ1 マダイ1 青タイ1尾
"	10	14.30 14.50	20	7	122	"	"	青タイ1 サバ1尾 鰯1尾
"	11	15.00 15.20	20	9	127	24.5	"	ハマダイ4 キントキダイ1 メバル1尾
"	12	15.25 15.40	15	4	"	"	"	ヒメタイ1 プリ2尾
"	13	15.55 16.10	15	7	"	"	"	ハマダイ3 ヒメダイ1 メバル1尾
"	14	16.25 16.50	25	8	"	"	"	ハマダイ3 キントキダイ2 メバル1 鰯1尾
"	15	17.10 17.30	20	8	"	"	"	ヒメタイ1 青タイ1 メバル2 キントキダイ2尾

(第2表)

5月25日	1	09.00 09.15	15分	8人	117.7	24.8	ヤシマ	サバ3尾
"	2	09.30 09.50	20	9	120~ 125m	"	"	サバ2尾
"	3	10.15 10.40	25	8	130	"	"	ハマダイ2 マダイ3尾
"	4	11.00 11.30	30	9	"	"	"	マダイ1尾
"	5	12.00 12.25	25	9	128	"	"	マダイ1 マーチ(ヒメタイ) 幼5尾
"	6	12.30 12.55	25	3	133	"	"	マダイ1 ヒメタイ(マーチ) 1 青タイ2尾
"	7	13.45 14.00	15	8	122	"	"	なし
"	8	14.40 14.45	25	9	132	24.7	"	サバ10尾
"	9	15.25 15.40	15	9	126	"	"	鰯魚1尾
"	10	15.55 16.20	20	8	143	"	"	なし



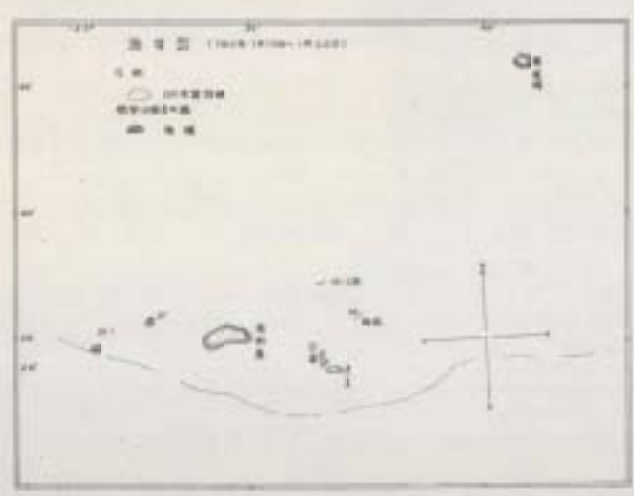
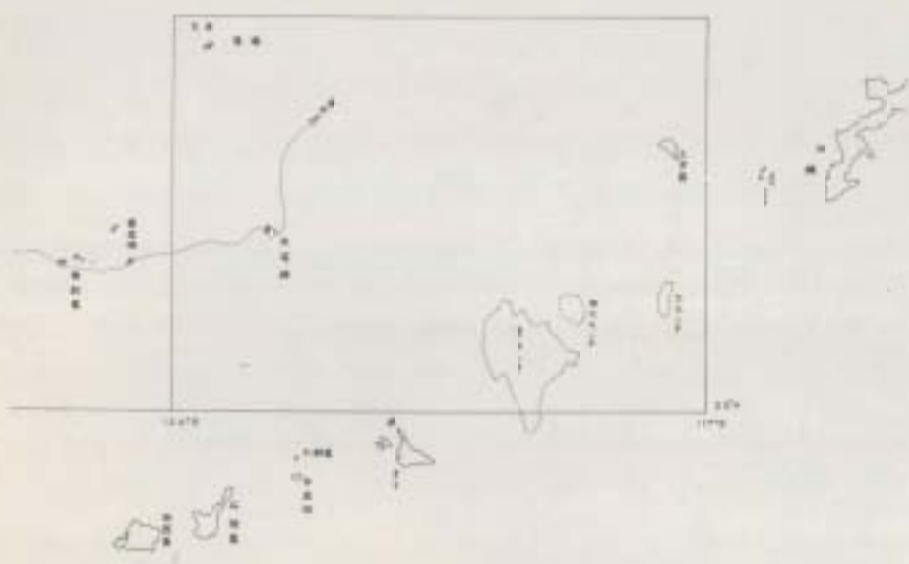
漁獲的釣獲状況

当漁場は小さい曾根らしく第1表に見る如く、ハマダイ、青ダイ、メバル及キントキダイ等種付魚類が捕獲している。水深は10.5乃至13.0m位でハマダイの最も多く漁獲されるのは12.0~13.0mの水深である。海底は岩礁で起伏状頗る甚はたしく漁具の切損も度々あつた。延後第26回で総漁獲尾数130尾(鱒を除く)1回当平均8尾で好漁とは云えないが概上は、うまく行けば1回10尾以上のハマダイの釣獲が見られた。漁獲的釣獲率は青ダイ、37回で28.46%ハマダイ10尾で23.07%、マーマチ(ヒメダイ)1.6尾で1.23%、マダイ1.5尾で1.15%、メバル1.2尾で0.92%、キントキダイ2尾で1.54%、ブリ1尾で0.77%、雑魚5尾4.61%となつて居り、其他類6尾も混獲されている。又第2表に掲げた漁獲物も三浦場付近で釣獲されているが潮流や風速の為概上を少し外れた為め漁獲皆無の状態となつて居る。

観 測 表

月 日	時 刻	緯 度	天 候	風 向	波 浪	気 温	備 考
		経 度	雲 量	風 力	初 期	中 期	
60年 1月26日	9:00	25°-42'	0	W	5	22.0	○ 降雨計の誤差が大きい為め気温測定せず
	14:00	同上	0	NNE	4	22.0	
1月27日	9:00	25°-45'	0	NNE	4	22.0	○ 風力は風力階級を用いてある。
	14:00	同上	0	NNE	4	22.0	
2月2日	14:00	25°-45'	0	NNE	5	22.8	
	14:00	同上	0	NNE	4	22.9	
2月8日	9:00	25°-06'	0	SSE	3	24.0	(第二次試験)
	14:00	同上	0	SSE	2	23.1	
	14:00	同上	0	SE	2	22.7	
2月10日	9:00	24°-04'	0	NNE	5	21.6	
	14:00	同上	0	NNE	4	23.4	
	14:00	同上	0	NNE	4	23.0	
2月12日	14:00	同上	0	NNE	3	23.4	
	14:00	平井港内	0	NNE	1	23.3	
2月13日	14:00	同上	0	NNE	1	23.0	
	14:00	同上	0	NNE	1	21.0	
	14:00	同上	0	NNE	1	21.0	
2月14日	14:00	25°-06'	0	NNE	4	23.4	
	14:00	同上	0	NNE	2	23.3	
	14:00	同上	0	NNE	2	23.6	
25日	10:00	同上附近	0	NNE	4	23.1	
	14:00	同上	0	NNE	3	22.2	
16日	13:00	同上	0	NNE	3	21.2	
	14:00	同上	0	NNE	3	22.2	
26日	14:00	25°-54'	0	SE	1	23.8	(第三次試験)
	14:00	同上	0	SE	2	23.5	

月日	時刻	緯度	天候	風向	波浪	其他	備考
		經度	雲量	風力	分秒	水温	
2月29日	1030	25°-44.5'	0	NNE	3	22.4	魚釣西方4港 25°-44.5' 123°-24'
		123°-24'	10	4	3	23.0	
29日	1100		0	0	3	23.0	同上
			0	4	3	24.0	
*	1200		0	0	3	23.3	同上
			0	3	3	24.2	
*	1300		0	1W	3	23.0	同上
			0	0	3	24.1	
3月1日	1000		0	NNE	3	22.8	同上
			5	3	3	24.0	
2日	1030		0	0	3	24.0	同上
			0	3	3	24.3	
*	1600	同上	0	0	3	24.4	
			4	3	3	24.7	
			0	NNE	4	22.2	南小島沿岸
3日	1200		10	5	3	24.4	
4日	1800		0	1E	1	25.7	
			0	0	3	25.0	
5日	1500	25°-54'	0	0	3	25.8	赤尾崎100尋曲
		124°-31'	4	4	3	25.0	
6日	000	同上	0	0	3	25.0	
			3	3	1	24.7	
*	1800	*	0	3	3	25.0	
			3	4	1	24.8	
7日	1400		0	NNE	3	25.0	(赤尾次試驗) 魚釣長沿岸
			0	3	3	24.2	
23日	1230	25°-44.5'	0	NNE	3	25.5	魚釣西方4港
		123°-24'	10	3	3	25.1	
*	1600	同上	0	0	3	25.2	同上
			10	2	3	25.0	
24日	030	25°-44.5'	0	3W	3	25.2	同上
		123°-24'	10	2	3	24.4	
25日	1000	同上附近	0	0	4	25.2	
			4	2	2	24.2	
*	1600	同上*	0	1W	0	25.0	
			10	0	3	24.7	
27日	1600	南小島沿岸	0	NNE	3	25.0	南小島
			0	4	3	24.4	
28日	1100	25°-44.5'	0	1E	4	25.2	
		123°-24'	10	0	3	24.0	
29日	1030	赤尾崎西方	0	0	3	23.4	
		100尋曲	10	4	3	24.7	
			0	0	3	25.0	
	1600	同上	10	4	3	24.0	





琉球政府調査船  
要目表

船主 琉球政府  
造船所 株式会社 日神鉄工業

起工 昭和34年12月18日  
進水 昭和35年3月18日  
竣工 昭和35年4月30日

船体部	長さ(満載状態依る)	31465米	方向探知機	KD5131型(光電)	1基
	巾(“)	6200米	測深機	TC-1型電動測深機	1基 (日立製作所)
	梁(“)	1000米	水温計	M-2型 電気式水深水温計	1基 (村山電機)
	吃水(満載)	2600米	水温記録計	WR-2型	1基(“)
	総電数 15451P	純電数 5174	湿度計	MF-16型 換氣用空気式	1基(“)
	魚船容積	822 立方米	精密気圧計		1基(設計中)
	燃料容積	540 立方米	風速風向計	ハーモ、ベーン 電気式	1基(七速電気)
	潤滑油槽	295 立方米	海洋探測器具		
	淡水槽	259 立方米			
動力	公試最高1445馬力航海出力	9.8節	パソサーマグラフ、夜基計その他		1式
機関設備	主機	渦輪機付ディーゼル機関400H	1基 (日神鉄工)	魚探装置	鯖はね釣、棒受、延縄装置
	補機	ディーゼル 48H	2基(ヤンマー)	無線装置	主送信装置 A <sub>1</sub> 150W A <sub>2</sub> 50W A <sub>3</sub> 50W 1基(日本無線)
	発電機	三相交流35KVA	2基(大洋電機)	補助送信装置	A <sub>1</sub> 150W A <sub>2</sub> 30W A <sub>3</sub> 15W 1基 (“)
	冷凍装置	冷凍工事フ里昂12直立式	2基 (日商三菱)	受信装置	16球ダブルスーパーヘテロイダ式 (“)
	甲板機械	揚物機(電動車式) 11馬力	1基	乗組員	36名(技士員2名、乗組員34名)
		操舵機(電動油圧式)(東京計器)	1基		
		レーダー MR04型	1基(神田工業)		
		ローランJ1A-102型	1基 (日本無線)		
		魚群探知機	YS-2000型(日産)		